



## 消防長就任挨拶

系原文昭

4月1日付で、雲南消防本部の消防長を拝命いたしました。

雲南地域の皆様の生命・身体・財産を災害から守るといふ重責を痛感いたしますと共に、身の引き締まる思いです。もとより微力の身ではありませんが、最善を尽くすことにより、地域の安心・安全を守るべく専心努力する所存であります。

火災や災害は、いつ、どこで、どの様な形で発生するか予測が困難です。4月14日以降、熊本県及び大分県では大きな地震が相次ぎ、甚大な被害が発生し、今もなお住民生活に多大な影響を残しています。被災地の一日も早い復興を、心からお祈り致します。

近年の災害は、地震、集中豪雨、火山の噴火や竜巻など、複雑かつ多様化し、一方では、一局集中や巨大化するなかで、消防に寄せられる期待は年々大きなものとなっています。こうした自然災害や火災による被害の軽減を図るため、市・町並びに消防団、住民の皆様との連携を図り、自主防災組織等を通じて、訓練や情報共有に努め、防災力の向上を一層推進して参ります。

また、今年度、救急業務では、救急高度化に伴う救急救命士の処置拡大に取り組み、救急救命士を中心とした職員の知識・技術の向上に努めて参ります。さらに、医療機関との連携を密接にし、住民の皆様への応急手当の普及を図り、救命率の向上につながるよう救急体制の強化を図っていきます。

今後とも、住民の皆様様の安心・安全を守り、負託に応えられるよう、職務に邁進し、職責を果たす所存ですので、住民の皆様はもとより、消防団をはじめ構成市町並びに雲南広域連合議会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 新規採用職員紹介



ふじ かわ じゅん  
藤 川 純  
(飯南町出身 21歳)

私は、幼いころから人の命に関わる仕事をしたいと思っており、雲南消防を志望しました。現在は、松江市にある島根県消防学校で日々訓練などを行っています。大変な毎日ではありますが、私が消防署へ帰ってから即戦力として勤務できるように頑張っていきます。また、私を支えてくれる家族にも感謝して頑張っていきます。どうかよろしくお願いします。



そ た こう き  
曾 田 晃 希  
(雲南市出身 20歳)

私が消防士を目指した理由は、学生の時にインターンシップにて消防署で体験学習をさせていただき、消防士は、人のために力を発揮出来る職場だと思い希望しました。また、私は救急救命士の資格を取得しましたので、救急隊として少しでも多くの命を助けたいと思います。現在私は、消防学校へ入校しており、消防士としての基礎をしっかりと学び、即戦力となれるよう切磋琢磨し頑張っていこうと思っています。



みつ たに ゆう すけ  
光 谷 雄 佑  
(雲南市出身 21歳)

私は、今まで育ててくれた地元で、消防士として働きたいと思ひ雲南消防本部を希望しました。小さい時、いつもあいさつや話しかけてくださった地域の方々に、消防士として恩返ししていきたいと思ひます。まずは、消防学校で基礎をしっかりと学びたいと思ひます。これからよろしくお願ひします。



いな た はや と  
稲 田 隼 士  
(雲南市出身 19歳)

私が消防職員を希望したのは、生まれ育った雲南市のために働きたかったからです。そして、父が消防団員として、災害や訓練などで活動する姿を子供のころから見て憧れをもったからです。消防職員初任総合訓練で知識・技能・体力を鍛え、現場に出たとき即戦力となれるように頑張ります。